



▲ 閑静な住宅街に、突然高層建築物ができたとしたら…

高層・大規模マンション 建築問題は

細井 幸雄 議員

議員 良好な住環境地域に既存の建物とは異質な

庫が突如高層マンションに変身する可能性は、市内の随所にある。市民への問題提起や対策を積極的に進めるべきではないか。

都市整備部長 条例、要綱等で建築制限や責務を課し、無秩序な開発を規制しているが、「高さ」に関しては、市内のほぼ全域に制限はない。風景や環境を守ることは大事であるが、法の範囲で建築する権利の否定もできない。しかし、「地区計画」制度等で、高さなどを制限する手だてはあるので、

14階建て高層建築物は、地域の安寧やコミュニティを無視したもの。計画の進行に近隣住民がただ手をこまねくだけの現状に、法や条例の無力を感じる。市はどう考えるか。

今後、市民に制度の紹介を進んで努めていく。また、高さに限らず、自分たちのまちをどのように守り、育てていくか、という住民のまちづくり活動に、市は積極的に関わっていく。

戸田駅西口駅前広場タ クシープールの改善を

議員 朝の駅前は、「送り」の車とタクシーとで混雑を呈している。自家用車は、バスの利用が不便な人や身体的な理由をもつ人の必要な手段である。停車場の確保、またタクシーの改修の余地について伺う。

都市整備部長 タクシープールの利用によるタクシー乗り場の待機台数の減少を図り、自家用車の停車スペースの明確化と身障者用の配置等、警察等と協議しながら進める。なお、今後、土地区画整理事業により、駅前広場の本整備を行う。

ごみの有料化は

市民抜きに決めないで

岡寄 郁子 議員

議員 本市は20年度から家庭ごみを有料化する計画だ。「ごみを減らすため」と言うが、焼却ごみの4割は事業系ごみである。増え続ける事業ごみの対策はどうなのか。

民生生活部長 事業ごみは紙が多いため、古紙の

リサイクルを進めて減量を図る。家庭焼却ごみと合わせて2割削減したい。

議員 家庭ごみは市民の努力で世帯あたりの量は減っている。有料化で負担を押し付ける前に、「これ以上どう減らせるのか」を市民と一緒に考えるべきではないか。有料化の目的は財政確保か。

民生生活部長

有料化は有効であり、情報を市民にも示して検討、決定していく。

市長 減量化が目的だが、財政確保に関係ないということもない。



▲ 衛生センターに集められたリサイクル用のごみ

障害者のくらし守れ

議員 4月からの障害者自立支援法で、障害者の自己負担が増え、福祉施設への補助金も減らされている。市が支援を行うべきでは。

福祉部長 負担増でサービスが受けられないことがないよう実態をつかむ。福祉施設は10月以降の状況を見て考えたい。障害のある人や家族が安心して生活できるよう、全体の施策を見直しつつ、負担軽減も改めて考えたい。

議員 障害福祉計画で整備目標を立てるにあたり、①ニーズ調査の実施を。②ショートステイの整備は。③新設作業所の見直しは。

福祉部長

①ニーズ把握はしていく。②住み慣れた地域に生活できるために必要。③養護学校卒業生の進路先の一とつとして検討している。就労支援を考慮して進める。

一般質問

トコバスの運行に さらなる改善策を求める

山崎 雅俊 議員

議員 トコバスは、市民に大変親しまれているが、さらなる改善策はどのように考えているか。

民生生活部長 トコバスのさらなる運行改善策については、6月より実施した東循環のダイヤ改正をはじめ、新路線である

南西循環の運行開始や西・美笹循環の一部路線変更による効果の検証をした上で、さらなるサービス向上策や充実策について検討したい。



▲ますます便利になりました

特に東循環については、安全に配慮しながら、できるだけサービスレベルを落とさないとの考えから、今回のダイヤ改正を行ったところである。新ダイヤ運行後は時間的余裕が生まれたため、優しい運転になった感じを受け、ダイヤの改正は、市民サービスの点から有

効だったものと考えている。なお、ベビーカー持ち込み等乗車マナーについては、利用者がお互い気持よく利用できるよう、安全等を考慮しながら、今後さらなるマナーアップを図っていききたい。

市役所等公共施設の さらなる喫煙対策は

議員 市役所等の公共施設のさらなる喫煙対策が必要と考えるがどうか。

総務部長 平成17年4月、市役所本庁舎内を全面禁煙とし、南側や東側など数カ所に灰皿を設置し対応してきたが、マナーや喫煙姿が見苦しいとの市民からの声があり、本年5月より庁舎北側と地下1階に限り喫煙場所とする処置を講じた。

しかしながら、いまだ見苦しいとする声が届いていることもあり、今後は敷地内全面禁煙に向けた対策を講ずる必要があると考える。

も達への指導も含め考えていかなくはならないと考える。

子どもの国を子育て施設としての施設整備を

議員 今後の施設整備について、①施設内のバリアフリー化を。②施設内での飲食を。③施設内の安全対策を。④授乳室・調乳室の設置を。⑤子育て施設としての施設整備を。

議員 ①今後の改修の際には段差の解消を図っていく。②施設内で飲食ができるよう研究していく。③職員や委託業者が随時巡回して安全確認をしている。④現在の施設内で対応できるところ。⑤施設の老朽化への対応の中で、新たな取組が考えられるならば、必要とされる機能を備えた施設整備を図れるよう研究していく。

交通指導員を増やし 通学路の安全対策を

本田 哲 議員



▲運転手はルールを守って！

議員 朝、車両通行止めの時間規制がある通学路

に車が進入している場所は、市内に何カ所あるのか。

議員 交通指導員を増やし、配置して、安全対策に努めるべきではないか。

教育部長 交通指導員の増員については、限られた財源の中で、配置の場所の見直しや配置方法の工夫により、有効活用に取り組んでいく。

議員 安全確保のため、今後、どのような対応をとっていくのか。

教育部長 交通安全の確保として、一日も早く対応していくこと、また、事故が起きないよう子

